

平成 30 年度 第 2 回

丹波市地域公共交通活性化協議会
(丹波市地域公共交通会議)

議 事 録

閱覽用

1 開催日時 平成 30 年 11 月 26 日 (月) 午後 1 時 30 分 開会

2 開催場所 丹波市商工会 柏原支所

3 出席者 (委員)

北川 博 巳	会長	大野 亮 祐	副会長
本間 和 典	委員	中澤 秀 明	委員
足立 安 夫	委員	中 辻 剛	委員
中川 武	委員 [代理]	大谷 健太郎	委員 [代理]
石田 光	委員	藤浦 俊 行	委員
瀬川 雅 史	委員	永井 正 伸	委員
山田 吉 晴	委員	畑 幸 一	委員

委員 14 名出席

(オブザーバー) 正垣 あおい

(デマンド(予約)型乗合タクシー運営者) 藤本 泰 男

4 欠席者 畠 宏一郎 委員 長田 貴 委員
太田 嘉宏 委員

5 会議に付した議題及び案件とその内容

1) 開 会

2) 会長あいさつ

3) 議 事

(1) デマンド交通の状況分析について

(2) 路線バス利用増進の取り組みについて

(3) バス路線の見直しの状況について

(4) 「てくてくたんば」平成30年10月発行について

(5) その他

4) 閉 会

(事務局長)

只今から平成30年度第2回の丹波市地域公共交通活性化協議会(丹波市地域公共交通会議)を開催させていただきます。委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を頂きまして有難うございます。

まず、丹波警察署 交通課長 瀬川雅史様には、8月の人事異動に伴い、本会委員として就任頂いておりますことご紹介致します。また本日は、柏原神姫タクシー(株) 会長 畠宏一郎様、NAGATAケアマネジメント研究所 主宰 長田貴様、丹波市未来都市創造部長 太田嘉宏につきましては、事前に欠席のご連絡を受けております。

それでは以降の進行につきましては、会長にお渡しを致します。どうぞよろしくお願い致します。

(会長)

皆さんこんにちは。本日もよろしくお願い致します。

会議次第にある報告事項4点について確認しながら進めたいと思います。なお、バス路線の見直しについては、まだ確定したものではないので、現時点での状況についてご説明頂く予定です。

それでは、まずは1番目のデマンド交通の状況分析について説明をお願いします。

[デマンド交通の状況分析について説明 資料：別紙1～別紙3]

(会長)

有難うございました。デマンド交通の状況について、確認事項や質問等があればお願い致します。

(委員)

別紙1を見ると、柏原、氷上地域のデマンドの登録率が低い状況です。来年の7月に柏原、氷上地域の地域境に新病院が開院するので、特に氷上地域の病院の利用者は増える可能性があると思います。その機会に、デマンドの登録者、利用者が増えるように、対象地域の住民に対する周知をしっかりと行うということもこれから重要ではないかと思えます。

次に、木曜日の運休に関しては既に議論されているかも分かりませんが、病院に限って言うと、木曜日も開いている所もあるので、費用面の事もあるかと思いますが、その辺りの対応、考え方をお聞きしたいです。

(事務局)

周知活動については、第1回会議でもご指摘を受けた点ですが、来年7月のバス路線再編に伴い「てくてくたんば」の全戸配布を考えております。また、来年4月以降に自治会長会を通じた啓発活動を検討したいと考えておりますので、ご協力を頂きたいと思えます。

次に、デマンドの木曜日の運行についてですが、地域のかかりつけの医院に関しては、

木曜日が終日休診や午後休診の医院が多いので、その点も含めて総合的に運行状況を見ていきたいと考えております。

デマンド交通については、公共交通空白地の解消と既存の公共交通との連携を図ることを目的として、電車やバスを利用したくても駅やバス停までが遠い方の利用や、地域の活性化にも繋がる商店への利用等の地域内での生活交通手段として運行を始めたものです。現在の利用状況については「てくてくたんば」にも載せているように、午前中の利用が多い一方で、8時便、3時便の利用には余裕がある状況です。また、金曜日の利用が多く月曜日は少ないという状況もあります。これらの利用状況を総合的に考慮して、電車、バス、タクシーとの乗り継ぎ等についてもこの会議で議論して頂きながら、デマンドが補完的な役割を担う公共交通として、必要に応じた運用改善を行っていければと考えております。

(会長)

有難うございました。バス路線の再編に合わせた啓発活動については、「てくてくたんば」の全戸配布の実施と、デマンドの登録が増加するようなプロモーションということですが、なるべく各公共交通のバランスの良い案を事務局で考えて頂ければと思います。

木曜日の運行については、デマンドの運行開始当初は、木曜日が休診の医院がかなり多かったので、あまり無理をしないで木曜日は運休という形でスタートしたという状況でした。確かに新病院開設のインパクトはありますが、利用状況や移動実態等の様子を見ながら、また運行に関する要望や移動困難な状況があれば、それらを把握、検討しながら改善していきたいという話ですので、よろしくお願ひしたいと思います。

他に質問等ありますか。

では、デマンド交通の状況のまとめとしては、死亡による登録者の減少があるが新規登録者も同程度あること、お亡くなりになる直前までデマンドを利用した外出の実態があるので、健康寿命に貢献している部分があると考えられるということですね。周知については口コミも大事だと思いますので、「デマンド(予約)型乗合タクシーというのがあって、1回300円で、いろんな人が利用していて、今は使わなくても将来に使う可能性が高い乗り物なので登録をしておいて早めに使って見たら」等を家族や親戚等からでもお話しして頂ければいいのではないかと思います。その点も含めて今後の周知活動についての検討をお願ひしたいと思います。

他にデマンドについて何かありますか。この件についてはよろしいですね。

それでは次の議事に進みたいと思います。2番目の路線バス利用増進の取り組みについて説明をお願いします。

[路線バス利用増進の取り組みについて説明]

(会長)

有難うございました。いろいろと広報をして頂いていることと、バス車内の装飾により季節感を感じて乗って頂くための雰囲気づくりとのお話でしたが、これについて何かあり

ますか。よろしいですか。

ではバス事業者さんから現状を報告して頂けますか。

(委員)

来年7月の新病院の開設に伴って路線の再編を検討中ですが、便数も増える見通しなので、これをきっかけにより多くの方に利用して頂けるようにダイヤ等について丹波市と検討を重ねていきたいと思っております。現状につきましては所長から報告させていただきます。

(随行)

今年の5月から9月の期間に大幅な収入減となっております。聞き取り等を実施してもはっきりとした要因は分かっていませんが、夏場の異常気象やJRの計画運休も要因の一つではないかと考えております。6月の乗降調査では人数的には減っていなかったのですが、今後も減収が続くようなら再度調査をして、原因究明に努めたいと思っております。

(委員)

所長からの現状報告の補足をさせていただきます。5月からの減収については丹波市と篠山市の両方の路線分を計上した篠山営業所の数値なので、丹波市だけという訳ではありません。理由については、先程の所長の話にあった悪天候の影響の他に、観光客の利用が割と多いJR篠山口駅から篠山市内に向かう路線が30分に1本程あるのですが、その利用が少し減ったのではという予想も持っております。JR篠山口駅にも利用状況について聞きましたが人口減少等による影響はあるがそんなに大きな減少でもないという返事を頂いております。

(会長)

有難うございました。デマンドも同じですが、いつも乗っている人が一人いなくなるだけで利用減となるような状況がありますので、新規の方を含めより多くの方にバスを利用して頂き、そして乗り続けて頂けるような啓発活動が必要です。いろいろやってみてもなかなか定着しなくて少し悩ましいところもありますが、コツコツとでも一生懸命に利用増進の取り組みを継続するしかないかなと思っております。そしてもう一つ考える必要があるのは需要を作り出すことです。特に観光ですが、例えば、人の動きが多い観光シーズンには、バスに乗ってこんな旅が出来るみたいな話とか、実際何か企画があればホームページに載せてはいるけどもっと皆に見てもらうにはどうすればいいとか、需要を作り出す工夫が必要だと思います。最近は様々な自治体が我が町のプロモーションに力を入れていますし、これは丹波市の総合的な話として、観光や市のスタイルみたいなものを考えてもらえるような、そんな働きかけをこちらからもして頂ければと思います。急にこれといった得策がないのが難しいところですが、少しずついろいろな方面から取り組んで頂きたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

他に路線バスの利用増進について何かありますか。この件についてはよろしいですね。

それでは次の議事に進みたいと思っております。3番目のバス路線の見直しの状況について説明をお願いします。

[バス路線の見直しの状況について説明]

(会長)

有難うございました。報告によりますと、路線の一部復活含めルート変更が多くあり、中心部の駅、新病院、大型商業施設等を巡回する役割を担う様なバス路線にするということ、また、便数もかなり増えるということですね。新病院の開院に伴うインパクトはバスが一番にあり、基幹交通としての新たな役割を担う期待が持てると思いますので、今はかなり慎重に協議をされている段階だと思います。次回の交通会議では具体的な案が提示されると思うので、その協議に備えて今回の資料や説明で事前に予習をして頂ければと思いますのでよろしくお願い致します。

他に何かありますか。

(委員)

路線が増えるのはいい事ですが、和田地域からの新規路線については過去に廃止した路線なので、復活したはいいけどやはり採算が合わないのもまた取り止めるといった事態にならないようにして頂きたいと思います。バス事業者さんも市も良く検討して頂いて、採算が取れるような方向になれば良いとは思いますが、例え幾らか赤字が出ても企業努力をして頑張って頂きたいと思います。

(事務局)

和田地域からの新規路線については、現時点では運行がない地域間を結ぶ路線として運行を依頼したという経緯があります。現状では、バスの運行がない和田地域から氷上地域の中心部へ行くには、例えば、まず谷川駅まで行き、JRを利用して石生駅まで行き、そこからタクシーないしバスないしデマンドを乗り継ぐ形となっていますが、今回の新規路線により、バスを乗り継いで行って頂ける様な形態を取れるものと考えております。昨今は、旧町域を越えてのデマンドの運行や、乗継所を設ける等の要望がよくありますが、デマンドはあくまでも地域内での生活交通であるという役割を明確にするために、この和田地域からの路線について運行の検討をお願いしている状況です。

(会長)

まだ検討段階の話ですが、やはりバス事業への補助の要件がある訳ですから、路線継続の基準等を設けて、利用状況等をモニターする必要があると思います。それから、社会実験というやり方で、新病院開設のインパクトがある時に一気に路線を復活するという形もあると思うのですが、一方で慎重論も心に留めておいて議論の材料にして頂ければいいのではないかと思います。いずれにしても、後々に路線継続が難しい状況にならないように、しっかりと評価を行い運行しましょうという話だと思いますので、その辺もご検討をお願いしたいと思います。

バス路線の見直しの状況について他にありますか。この件についてはよろしいですね。では、4番目の「てくてくたんば」平成30年10月発行について説明をお願いします。

[「てくてくたんば」平成30年10月発行について説明]

(会長)

有難うございました。今号はこれで良いと思っております。次号についてはまだ協議中ではありますが、7月に全戸配布を目指しているので、発行のタイミング的には変則版といった展開になるのではないかと思います。いずれにしても公共交通についての広報も大事ですので、次号については継続して協議しますのでご一任頂くと有り難いです。

この件につきまして何かありますか。よろしいですね。

それでは、5番目のその他について事務局からお願いします。

(事務局)

今回の会議ですが、来年の1月末から2月にかけての予定で、バス路線再編についての協議をお願いしたいと考えております。

それから、有償運送運営協議会の報告案件が2件程ある見込みですので、これに関しては同会会長ともお話をさせて頂いておりますが、今回は交通会議と有償運送運営協議会の同日開催を予定しておりますので、よろしくお願い致します。

(会長)

有難うございました。今回は有償運送運営協議会と同日開催で1月か2月の予定という事と、バス路線の再編に係る協議という事ですので、よろしくお願い致します。

それでは、何でも結構ですので全体を通じて何かありますか。よろしいですか。

それではこれで閉会となりますが、引き続き、式典を行いますので、委員の皆様には、引き続き同席頂けると有難いです。

(事務局長)

委員の皆様には長時間のご審議をお世話になり、有難うございました。

この後、「デマンド(予約)型乗合タクシー ドライバー・オペレーター感謝状贈呈式典」を開催させていただきます。

若干準備等がございますので、暫く休憩をさせて頂きたいと思っております。よろしくお願い致します。